

戦争はだめ。当然

静岡 女性ら怒りこめて協力



「子どもの将来が心配」と戦争法廃止署名をする母親。8日、静岡市葵区

憲法を守り生かす静岡県共同センターは8日、戦争法廃止2000万署名の県内50万人分達成をめざし、今年最初の街頭宣伝を静岡市の静岡駅コンコース

広げよう
2000万署名

で行いました。参加した20人が署名を呼びかけると、戦争法への不安や怒りをもった女性たちが自ら寄ってきて続々と協力し、1000人分を集めました。

代表の林克県評議長と、北野庄次県革新懇事務局長は、安倍政権が来年度予算で史上初めて5兆円を超える軍事予算にし、戦争に突き進んでいることを説明し「戦後」をずっと続けさせるためには戦争を放棄した日本国憲法を守り生かさせることこそ必要。国民の世論で憲法違反の戦争法を廃止に追い込もう」と訴えました。

「参院選で共産党が議席を伸ばし廃止を前進させてほしい」と期待を寄せました。

署名した女性(39)は4歳と0歳の息子を連れ、将来、徴兵制にな

ってしまおうのでは。現在の政府が否定しても全く信用できない。今の法律を廃止させなければ」と話しました。2歳の娘を連れた母親(51)は「人を殺し合う戦争に子どもたちが巻き込まれてほしくない。今までの日本のままがいいと思う」と不安を口にしました。

「戦争はダメなのは当然」と怒りの署名をした女性(67)は「子どもを育てたことがある人なら当たり前のこと。それがわからない安倍政権は許せない」と語りました。

高齢の女性は「参院選で共産党が議席を伸ばし廃止を前進させてほしい」と期待を寄せました。